



一生懸命はかっこいい

今週の日曜はいよいよ体育大会です。各団ともに意欲を持って、本気で練習に臨んでいます。各団のリーダーはクラスのため、団のため、そして学校のために取り組んでいると思います。

3年生は体育大会を通して、リーダーとして本当によく頑張っていると思います。正直な話、昨年度のあなたたちの姿からは、今年のような盛り上がりは想像が付きませんでした。本当に成長した姿を見て、さすが「大中最高学年」だと思います。体育大会の練習を通して、私自身も改めてリーダーとしての資質について考えました。私はリーダーとして必要な資質は3つあると思います。

1つめは『考動力』です。

文字通り、物事について考えて、動く力です。リーダーは周りの人よりも、自ら率先して考えて動き、お手本となる必要があります。その姿を見て、周りも動くわけです。『考えて動くこと』と『何も考えずにただ動くこと』とでは、その物事の達成度も変わってくると思います。今、何をすべき時間なのか考えて動く、苦しい人や困っている人がいないか考えて動く、どんな言葉かけをすれば良いのか考えて動く…。『考動力』が養われている人は、物事を成功に収める能力があると思います。

2つめは『発信力』です。

体育大会の練習もそうですが、リーダーは迅速に整列をさせたり、忘れ物をしないように呼びかけたりする必要があります。これは体育大会に限ったことではありません。日頃から1分前着席を呼びかけたり、教科連絡を確実にしたり…。周りにしっかりと発信することで、よりよい集団に近づいていくと思います。リーダーも発信するだけではなく、発信したことを自らが一番に取り組むことが大切なのです。

3つめは『責任力』です。

自分の仕事に責任をもって取り組むことはほとんどの人がおこないます。しかし、リーダーは自分の範疇（はんちゆう）ではない仕事に対して、別に「自分の責任」ではないけれど、これを「自分の責任」と思って、身体を動かすことが求められるのです。例えば、自分が使っていないトイレのスリッパが乱れているのに気づいたとき、自分が使ったわけではないけれど、次に使う人のことを考え、「自分の責任」と思って、きれいに並べること。これはリーダーとして大切な要素だと思います。『断れば断ることのできる仕事や責任をあえて受け入れる』…。『自分にとって不都合なことをどれだけ受け入れられるか』。これは、大人になってからも「誰からも応援されるかどうか」の大切なポイントになるものです。

体育大会の話に戻りますが、
体育大会に情熱を注いで作り上げようとしているあなたたちに…

「才能とは、情熱を持続させる能力である」

これは、有名なジブリアニメ監督・脚本家、宮崎駿氏の言葉です。
あなたたちの情熱は体育大会を必ず成功させると、確信しています。

いざ、本番！

革新～SMASH～

